

平成27年度第2回米子市文化財保護審議会 議事録概要

- **日時** 平成28年3月29日（火）午後1時30分～午後4時
- **場所** 米子市役所第2庁舎3階会議室
- **出席者** （委員）小原顕会長、浅井秀子委員、神谷要委員、喜多村理子委員、
常松喜恵子委員、畠中弘委員、丸山柚美委員、山藤良治委員
（事務局）岡課長、下高課長補佐、中原主事、杉谷主事
- **内容**
 - ・ 挨拶（岡）：会議趣旨説明
 - ・ 議事

1 平成27年度米子市文化財保護行政の実施状況について

【事務局資料説明・報告】

- ・ 市内遺跡の発掘調査について
- ・ 史跡整備について（上淀廃寺跡・青木遺跡・米子城跡）
- ・ 天然記念物の保護について（オオサンショウウオ・青木神社社叢）
- ・ 民俗文化財の保護について（米子盆踊り）
- ・ 有形文化財の保護について（瑞泉寺文書・上淀廃寺出土遺物・八幡神社木造神像・狛犬・水管橋）
- ・ 建造物の保護について（高田家住宅）
- ・ 無形文化財の保護について（革工芸技術 本池秀夫氏）
- ・ その他（石井要害について）

【質問等】

（山藤委員）石井要害について、もし地元の方のご意向を優先すると、遺跡としてはほとんど残らないということになるか。

（事務局）現在は斜面が垂直に立っているような状況であるが、安全勾配ということで、これがかなり削られるというようなことになる。中世の城館の郭という遺跡としてはかなり失われてしまうのではないかと考えられる。ただ、昭和40年代の造成の際にはかなり削られているようであり、既に開発されてしまっている部分もあるかとは考えられるが、城跡としてはほとんど残らない状態になるものと考えている。

（山藤委員）円形で、全国的にみても非常に珍しいものだが。

（事務局）絵図も残っており、城跡としては良いものであるが、山を取り囲むように住宅が建っており、非常に厳しい状況である。だが、地元への働きかけは継続していきたい。

2 平成28年度米子市文化財保護行政の実施計画について

【事務局資料説明・報告】

- ・ 埋蔵文化財について（市内遺跡発掘調査事業）
- ・ 史跡整備について（青木遺跡・米子城跡・向山古墳群・上淀廃寺跡）
- ・ 名勝・天然記念物の保護について（深田氏庭園・オオサンショウウオ・ハマナス等植物）
- ・ 無形文化財・民俗文化財の保護について（米子盆踊り・淀江傘製造技術）
- ・ 建造物の保護について（旧小原家長屋門）

【質問等】

（神谷委員）米子城跡周辺では、希少な在来のタンポポが多く分布している。整備計画を考えていく上では、こうしたことも考慮してほしい。

（事務局）たとえば、整備によって失われる部分のタンポポを移植するというようなことは可能だろうか。

（神谷委員）そのようにして土を返すことで、在来のものがなくなり、外来のものが入ってくるというようなことはよくある話である。全体を意識して保護するというようなことまでは必要ないかもしれないが、部分的にそういった場所を残すということができれば良いのではないか。草刈については今までどおり実施しても問題ないと思う。

（事務局）整備の中でこういった折り合いをつけるかどうかは、今後の大きな課題となってくると考えている。整備の際には、こうしたこともしっかり踏まえながら進めていきたい。

（神谷委員）一度、専門の研究者に意見を聞いてみてから話を進めた方が良いと思う。

（事務局）整備検討の委員の中にも植物の専門家を入れたいと考えている。希少種であるから、できるだけ保護する形で折り合いをつけたい。

3 米子市指定文化財の指定候補について（現地調査・協議）

（1）D51蒸気機関車（湊山公園）

【質問等】

（山藤委員）蒸気機関車の経歴についての記録は残っているか。

（事務局）残っている。1939年に大宮工場で製造され、酒田、横手、新見を経て1973年に米子で廃車となった。

（浅井委員）米子市との関わりを上手く説明できるかどうか大きな課題である。「なぜ米子市で指定するのか」という点が大切だ。米子で引退したというだけでは不十分であるように思う。

(丸山委員) 例えば、山陰本線を走っていたというような履歴がたどっていけるのであれば、米子市との関わりも見えてくるのではないかと。

(山藤委員) 動かすことは可能か。

(事務局) 動かすことは非常に難しいと思う。現在では部品もなく、修理の技術を持つ人もほとんどいない。

(浅井委員) 保存のためには多額の費用が必要であるが、この蒸気機関車の認知度は低く、理解が得られないのではないかと。いきなり指定して保存というのは難しいと思われる。前段階として、この蒸気機関車の活用を図りつつ、市民に対してアピールをしていくことが必要ではないかと。

(事務局) 湊山公園に置かれているということさえ忘れられつつある。市民の方に再認識してもらうことは大切だ。

(山藤委員) 現在は立ち入り禁止となっているが、年に1回でも2回でも入れるようにできれば。

(喜多村委員) どのような程度のサビ止めができるのか、塗装にはどのくらいの費用がかかるのか調べていくことが必要である。

(2) 掩体壕 (大篠津)

【質問等】

(山藤委員) コンクリートの内部について、戦時中の建物には、緊急時の技法として鉄筋ではなく竹が使われていたという事例があるようである。この掩体壕についても、内部を調査してみると良いかもしれない。

(事務局) ぜひ検討してみたい。また、現在はゴミが散乱しているが、きれいにしてできるだけ当時の様子に近づけたい。米子市内で戦争を物語るものとしては、これくらいしかないのではと考えている。小学生が夏休みの自由研究に取り上げてくれるといったこともあったので、一般に広めるためにも、8月15日前後には見るようにしたいと考えている。

(浅井委員) 指定候補としては時代がかなり新しいものである。指定の順番、対象物件の年代としては、どのように考えているか。

(事務局) 年代・分野の全体的なバランスをみながら指定を行っていきたいと考えている。